

川上板金工業所の取り組みや日々の活動を発信する広報誌

TAKE FREE

がわばん通信

VOL.10 記念号 JULY 2026 SUMMER

WEB版



香川産業安全衛生協会



安全が
未来をつくる。

守る、つながる、続ける。

#川上板金工業所 #安全大会2026 #安全第一 #労働安全衛生
#熱中症対策 #KY活動 #墜落防止

安全が未来をつくる。

一人ひとりの意識が、安心して働ける職場へ。

6月30日に開催された安全大会では、外部講師による講演を通じて、熱中症対策・墜落防止・KY活動の重要性を再確認しました。これからも、全員で「安全第一」の職場づくりを進めていきます。

大会で学んだ
3つのテーマ



熱中症対策

夏の現場を守るために



体調管理・水分補給・休憩の取り方など、具体的な予防策を学び、実践につなげます。



墜落防止

高所作業のリスクを知る



安全帯の正しい使用方法や墜落のメカニズムを学び、命を守る行動を徹底します。



KY活動

危険を予測し、事故を防ぐ



「かもしれない」で危険を予測し、仲間と共有。小さな気づきが大きな事故を防ぎます。

新しい仕組みで、もっと安全・もっと効率に

ティーチミー・ビズ

いつでも・どこでも・誰でも
作業手順を確認できる！



作業手順を確認できる環境へ
動画や写真で作業手順を見える化し、新人教育や作業品質の向上につなげています。

アイチェックアップ

安全点検を素早く・
分かりやすく・確実に



事故を未然に防ぎ、点検・報告・改善の流れをデジタル化します。

デジタル化で広がる可能性

- ✓ 作業マニュアルの多言語対応
- ✓ 在庫管理のオンライン化
- ✓ 新入社員のサポート強化
- ✓ 業務効率の向上



デジタルの力を活用し、より働きやすい職場づくりを進めています。

仲間と声をかけ合い、
情報を共有する



小さな気づきを
大きな改善につなげる

これからも「安全第一」で、
みんなでゼロ災害を目指しましょう！



社長から、皆さんへ

2026年も早いもので早半年が経過いたしました。
今年も労働基準監督署署長表彰を岡田昌樹君が受賞し、ゼネコン様より3件の表彰を受け、さらに香川労働災害防止団体連絡協議会様より「会長賞（優良賞）」を受賞いたしました。



これも一重に社員の皆様のご尽力の賜物として感謝しておりますが、今年は既に2件の労働災害と3件の交通事故が発生しております。
下半期は、襟を正して、身を引き締めて業務に取り組み「0」災害で終わられるよう頑張りましょう！

川上板金工業所 代表取締役 川上正城

安全を支える仲間たち ～表彰おめでとうございます～



安全をカタチにする、私たちの取り組み

5S推進委員会の取り組み



5S活動で大切にしていること

工場では、より安全で働きやすい環境づくりを目指し、日々5S活動に取り組んでいます。

整理・整頓された職場環境は、安全性の向上や作業効率の改善につながります。

しかし、5Sで大切なのは「きれいにすること」だけではありません。点検や確認の中で見つかった課題に対して、

「なぜこの状態になったのか」

「どうすれば同じことを繰り返さないか」

を考え、原因を追究しながら改善につなげることを大切にしています。一時的な片付けで終わらず、現場全員が意識を共有し、継続できる職場づくりを進めています。



安全推進委員会の取り組み



安全パトロール

現場の状態を確認し、危険箇所をチェック。



危険箇所の改善

気づいたことは改善へ。安全な環境づくりにつなげます。



安全教育的実施

知識と意識を高め、安心して働ける職場へ。



▲ドローンを活用した屋根点検

ドローンによる効率的な点検を導入。赤外線カメラで異常箇所を確認し、高所作業のリスク低減と安全性向上につなげています。



◀ 瀧北課長代理による現場チェックの様子

委員会活動を通じて、全員が安心して働ける職場づくりを進めています。



安全は、すべての仕事の基本です。

一人ひとりの意識と行動が、家族の笑顔と会社の未来を守ります。



決められたルールを必ず守る



食育の季節が始まりました

じゃがいも収穫 | 田植え | お米の成長 | 秋の収穫へ

初夏にはじゃがいもの収穫を楽しみ、
田植えの季節を迎えました。

土に触れて、育てて、味わう。
そんな時間を大切にしています。

旬を届ける。
土に触れて、育てて、味わう。

川上板金工業所では、「旬のものを
知る」ことを大切にしています。じゃ
がいも、お米、西瓜、とうもろこし、
みかん、柿——季節ごとに実る恵み
を、社員やその家族と分かち合い
たい。そんな会長の思いが、この食育活
動の原点です。

食べることは毎日のことだからこ
そ、何を、どこで、どうやって育てら
れたかを、少しでも身近に感じてほし
い。農業に触れ、土の力を知り、収穫
のよろこびを体で覚える。それが、食
への感謝につながると考えています。

今年も初夏、社員の子どもたちがじ
やがいもの収穫を体験しました。畑に
入り、土を掘り、地中からごろりと顔
を出すじゃがいもを手にする。その感
触は、スーパーの棚に並ぶ野菜からは
伝わってこない何かを、きっと子ども
たちに届けてくれるはずです

食べものがどこから来るのか。農業
がどれだけ手間と自然の力を必要とす
るのか。そういったことを、体験を通
じて少しずつ知っていくこと——それ
が、川上板金工業所の考える食育の姿
です。

旬のものをわかる大人になってほし
い。その思いを込めて、これからも季
節の恵みを届け続けていきます。



食育達人会長

食べることは、生きること。▶
この季節になると、自然のありがたさ
を改めて感じます。食を通じて、人と
人がつながる場をつくり続けていき
たいと思います。





毎年6月15日、香川県の満濃池では、田植えに向けた水を放流する伝統行事「ゆる抜き」が行われます。

昔から香川の田畑を支えてきた満濃池の水は、地域の農業に欠かせない大切な存在です。その季節に合わせ、今年も川上板金工業所の田植えが始まりました。

田んぼに植えられた小さな苗が少しずつ成長し、秋の収穫へ向かっていく姿は、毎年楽しみみのひとつです。

水田に映る象頭山の風景を眺めながら、自然の恵みを身近に感じる時間となっています。

また、2024年度からは健康経営の取り組みとして、自社田んぼで育てたお米を全社員へ30キロずつ配布しています。

毎日の食事を通じて、食への意識や健康づくりにつながることを願っています。

2025年9月からは、地域のこども食堂へのお米の寄付も始めました。大地が育ててくれたお米を、社員の家族だけでなく、地域の子どもたちや住民の皆さんとも分かち合いたい。食でつながる輪が、少しずつ広がっています。



田んぼから広がる、つながり

自社田んぼで育てたお米は、社員への配布やこども食堂への寄付を通じて、食の大切さを届けています。



健康コラム

夏を安全に過ごすために 熱中症対策とWBGT

夏本番を迎えるこれからの季節、気をつけたいのが熱中症です。熱中症は気温だけではなく、湿度や日差しなどの影響によって起こります。日頃から自分のいる環境を確認し、無理をしないことが大切です。

- 暑さを避ける
室内でも油断せず、エアコンや扇風機を活用しましょう。
- こまめな水分補給
のどが渇く前に、少しずつ水分を補給しましょう。
- 服装や日よけの工夫
通気性の良い服装や帽子などで暑さ対策を。

熱中症警戒アラート

運動による指針 / 気温(℃)・暑さ指数: WBGT

24℃未満 21未満	24～28℃ 21～25	28～31℃ 25～28	31～35℃ 28～31	35℃以上 31以上
ほぼ安全	注意	警戒	厳重警戒	危険
適宜水分補給	積極的に水分補給	積極的に休憩	激しい運動は中止	運動は原則中止



WBGT（暑さ指数）とは？
気温だけではなく、湿度・日射・風の影響を取り入れた、熱中症予防のための指標です。

数値が高いほど熱中症の危険度が高まります。
作業前や外出前に確認する習慣をつけ、暑さへの備えにつなげましょう。



「今日のWBGTは何度？」
まず確認することから始めよう。





発行月：2026年7月（毎月発行） 発行：(株) 川上板金工業所
〒766-0021 香川県仲多度郡まんのう町四條858-1
TEL：0877-75-5156 FAX：0877-75-2258
URL：www.kawakamibankin.co.jp

企画・編集：イノベーション室
廣田室長 WANG

タグラム
公式
アカウント



新しいホ
ムページ



※今年も豊かな実りを願って。
19000㎡の田んぼで280俵のお米を
作っています。